

<http://q.hatena.ne.jp/1252426314>

<http://www.atmarkit.co.jp/flinux/rensai/root05/root05c.html>

tar : 特徴 : 柔軟性が高い

メリット :

- ・ unix 系や、windows でも扱える
- ・ ファイル単位の、バックアップ・リストアが可能
データが壊れても、部分的に復旧できる見込みがある
- ・ 増分バックアップ可能
- ・ テープへバックアップ可能

デメリット :

- ・ 速度はあまり速くない
- ・ i-node を見るアプリケーションでは、矛盾が生じ、復旧データを認識できない

dump : 特徴 : 差分バックアップが可能

メリット :

- ・ ext2,3 との親和性が高く、ファイルシステムのバックアップという点で最適(というより忠実)
- ・ 差分バックアップ可能
- ・ テープバックアップ可能

デメリット :

- ・ 使用できるファイルシステムは、ext2,3 のみ
- ・ ファイルシステムの不整合が苦手 (single ユーザモードでないと安定しない)
- ・ i-node を基準としたバックアップの為、移植性が低い
- ・ フルバックアップデータが失われるとすべて失われる
- ・ 速度はあまり速くない
- ・ バックアップデータの取り扱いが複雑になりがち、しっかりとした管理が必要

dd : 特徴 : イメージバックアップ

メリット :

- ・ バックアップが比較的高速
- ・ mbr のバックアップが可能
- ・ バックアップ以外にも様々な応用が可能 (データフォーマット、ダミーデータ作成など)
- ・ イメージデータが作成可能 (iso など)

デメリット :

- ・ ハードディスクが対象の場合、オンラインバックアップが不可能
- ・ 差分・増分バックアップが不可能